

きんもくせい

病院だより

vol.71

平成31年
4月号

大盛況！医療市民講座を開催しています



▲平成30年度講師

当院では、掛川・袋井両市民をはじめ中東遠地域の皆さまの健康意識啓発のために、医療市民講座を定期的に開催しています。開院以来、計25回開催し、延べ約4,500人の方に参加していただきました。参加者アンケートからは「先生やスタッフの熱い思いに心強く感じた」「病気になった時は先生に診てほしい」など多くの感想が寄せられています。

本年度も、当院に勤務する医師・スタッフによる最先端医療や予防医療、健康づくりに関する講演を年4回（6月、9月、11月、2月）開催予定です。

今後も、参加していただく皆さまにとって、有意義な講座になるよう職員一同努力してまいりますので、ぜひご期待ください。

病院だより「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。

ホームページ <https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の病院だよりをホームページでご覧いただけます。



〒436-8555

掛川市菖蒲ヶ池1番地の1

TEL 0537-21-5555



スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください

当院だからできる総合医療

副院長 兼神経内科診療部長
兼睡眠医療センター長 兼認知症疾患医療センター長
若井 正一 医師

●主な症状と神経内科の代表的な疾患

神経内科は、脳、脊髄、末梢神経、筋肉の病気をみる内科です。しばしば精神科と混同されますが、心を診る診療科ではありません。神経内科を受診しなければならないのは、次に挙げた症状がある場合です。

症 状

しびれ、めまい、うまく力が入らない、歩きにくい、ふらつく、つっぱる、ひきつけ、しゃべりにくい、物が二重に見える、頭痛、勝手に手足や体が動いてしまう もの忘れ、意識障害 など

神経内科の代表的な疾患を列挙しますが、当院では、さまざまな高度医療機器を駆使し、また多くの診療科が連携して正確な診断を行い、良質な治療に結びつけられることが強みとなっています。

疾 患

脳梗塞、パーキンソン病、レビー小体病、筋萎縮性側索硬化症、てんかん、髄膜炎、脳炎、多発性硬化症、視神経脊髄炎、ギラン・バレー症候群、多発性筋炎、認知症、慢性炎症性脱髄性多発根神経炎 など

●睡眠医療

当科では、睡眠医療に積極的に取り組んでいます。

県内唯一の総合病院内の睡眠医療センターとして、専門の医師や技師が高度な検査、診断による最良の治療を行っています。また、日本睡眠学会の認定(A型認定医療機関)を受けており睡眠医療の専門施設です。

対象とする主な疾患は、睡眠時無呼吸症候群、ナルコレプシーをはじめとする過眠症、むずむず脚症候群(レストレスレッグス症候群)、レム睡眠行動障害をはじめとするパラソムニア、てんかん、などです。最近では、睡眠不足が認知症の発症率をあげる要因の一つと言われています。たかが睡眠と思わず、気になる症状がある場合は、一度受診してみてもはいかがでしょうか。

●認知症医療

当院は、静岡県から認知症疾患医療センターの指定を受けており、中東遠地域における中核施設の一つとなっています。地域の診療所などからのご紹介により外来診療を行い、認知症疾患における鑑別診断と治療方針の選定、地域包括支援センターや市役所など関係機関との連携にも力を入れています。

認知症患者の増加や若年性認知症は、社会的にも大きな問題になっています。総合病院としての機能を活かし、今後も認知症疾患医療センターとしての役割を果たしてまいります。

我々は、神経内科医としての専門領域は勿論ですが、総合病院の特長を生かし、多分野の専門医が迅速かつ緊密に連携し、総合的かつ最適な診断・治療が提供できるよう心掛けています。今後も、単に睡眠やもの忘れなどの問題だけに焦点を当てるのではなく、その合併症の早期発見・早期治療を目指し、地域医療に貢献してまいります。



▲神経内科医と薬剤師 (中央が若井医師)

医師異動のお知らせ

1月31日付 退職

耳鼻いんこう科 いずみ ちさこ 泉 智沙子 医師

今までありがとうございました

2月の 診療実績

1日あたりの患者数		
入 院		484人
外 来		1,236人
紹 介 率		80.2%
逆 紹 介 率		107.0%
病 床 利 用 率		97.0%
平 均 在 院 日 数		10.6日
手 術 件 数		390件
救命救急センター受診者数		1,467人
救 急 搬 送 件 数		489件

看護部通信

万全の体制で手術に臨む!

当院では、年間約4,500件の手術を行っています。現在3名の手術看護認定看護師が在籍しており、質の高い看護が提供できるよう活動しています。

手術看護認定看護師の役割は大きく分けて2つあります。1つ目は、患者さまの手術侵襲(手術による身体等へのダメージ)を最小限にとどめ、二次的合併症を予防するための安全管理(体温・体位管理、手術器材や機器の適切な管理など)を行うことです。2つ目は、患者さまが、周術期(手術前・手術中・手術後)を通して、安全かつ安心して過ごせるよう支援することです。

また、手術看護認定看護師として研修会や勉強会を開催しているほか、患者さまのケアをスタッフと一緒に考えることを大切にしています。昨年2月からは「術前看護外来」を開設し、パンフレットを用いて、麻酔の説明や手術に向けての生活指導(内服薬の休止、禁煙等)を行っています。手術に対する不安や心配を抱える患者さまの思いをしっかりと聞き、入院前から万全の態勢で手術に臨めるよう、医師をはじめとする多職種、病棟・外来との連携にも努めています。

「手術を受ける」ことは、患者さまとご家族の人生にとって大きな出来事です。患者さまが無事に手術を乗り越え、順調に回復し、明るく退院していただけるよう、スタッフ一丸となってサポートしてまいります。

手術看護認定看護師 伊藤美知子



▲術前看護外来で、手術や麻酔など説明する様子

4月27日から5月6日は10連休のため一般外来は休診します

今年のゴールデンウィークは、4月27日(土)から5月6日(月)までの10連休となります。この期間、一般外来は休診しますが、**救命救急センター(救急外来)は24時間対応しています**。皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

救命救急センターでは、「手術や入院が必要な緊急性がある患者さま」への対応を優先しております。発熱や軽度の怪我などは、お近くの開業医や「小笠掛川急患診療所」、「袋井市休日急患診療室」への受診をお願いいたします。

なお、当院での受診をご希望される場合は、「必ず事前の連絡」をお願いします。

☎0537-21-5555

日	月	火	水	木	金	土
						4月27日 休診日
28 休診日	29 昭和の日 休診日	30 退位の日 休診日	5月1日 即位の日 休診日	2 休日 休診日	3 憲法記念日 休診日	4 みどりの日 休診日
救命救急センター外来(救急外来)は24時間対応 ※重症患者優先						
5 こどもの日 休診日	6 振替休日 休診日					

地域医療を支える職員を募集します

申込締切日 5月17日(金)必着

試験日 6月2日(日)

採用日 2020年4月1日(経験者の方は応相談)

職種	採用人数	試験内容
薬剤師	3人程度	作文試験、適性検査、面接試験
臨床検査技師	1人程度	
助産師・看護師(新卒)	25人程度	
助産師・看護師(経験者)	5人程度	
事務職員	2人程度	一次試験：上記に加えて筆記試験、集団討論 二次試験：面接試験(一次試験合格者のみ)



OUR PRIDE
MAKE NEXT

◆詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/recruit/staff/index.html>

■受付時間:午前7時45分~11時00分
■診療時間:午前8時30分~
■緊急手術や学会等への出席のため、急に休診となる場合や担当医師が変更となる場合があります。

2019年3月19日情報

Table with columns for Department (診療科), Date (診療日), Time (診察室), and Doctor (月, 火, 水, 木, 金). Includes various medical specialties like 整形外科, 外科, 循環器内科, etc.

※(初):初診、(再):再診、(予):予約、(紹):紹介 ※午後には予約のみ
※入院患者さんへの面会時間 平日:午後1時~午後8時 土、日、祝日:午前11時~午後8時